※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	発展現代文（文）	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	「精選論理国語」（東京書籍）・「探求文学国語」（桐原書店）・「共通テスト＋センター試験 国語過去問題 現代文」（尚文出版）・「共通テスト決戦国語完答 40」（尚文出版）・「共通テスト実用的文章対策問題集」（桐原書店）・「上級現代文Ⅰ改訂版」（桐原書店）・「重要頻出漢字リアルマスター3300」（尚文出版）・「語彙力と読解力をつける現代文単語」（数研出版）・「速読＆速解チャレンジ 10 論理５・文学５　B」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では主体的に考えたことを、他者と協働することで深めていく活動を行います。
・論理展開に注目しながら、筆者の主張を深く理解しましょう。
・文章に触れる楽しみを知り、自ら読書に親しむ意欲を豊かに育みましょう。
・「近代」と「現代」の関連性を理解しましょう。
・主体性を評価します。学習の成果を定期的に確認しますので、きっちりと取り組みましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	主張とその前提や反証など情報と情報との関係について意識する中で、情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について深く理解している。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈した上で、自分の意見を論理的に展開している。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	文章の構成や論理の展開について、多面的な観点から評価する。 ［教材］ つながりと秩序 物語と歴史のあいだ 上級現代文Ⅰ	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増やすとともに、文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深めている。 b[読]：文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価している。 c：言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート ポートフォリオ
	題材に関する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係づけて自分の考えを広めたり、深めたりする。 ［教材］ 虚ろなまなざし 絵画の二十世紀 上級現代文Ⅰ	a：主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めつつ、情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 b[書]：実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点等の様々な観点から情報を収集、整理し、目的や意図に応じた適切な題材を決め、論述している。 c：言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート 小論文	ノート ワークシート ポートフォリオ
二学期	人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて新たな観点から自分の考えを深める。 ［教材］ 舞姫 上級現代文Ⅰ	a：新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深めている。 b[書]：人間、社会、自然などについて、自分の主張が的確に伝わるように書けているかなどを吟味して、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。 c：言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート 小論文	ノート ワークシート ポートフォリオ
	同じ事柄について異なる論点を持つ複数の文章を読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりする。 ［教材］ 共通テスト＋センター試験過去問題	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 b[読]：設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関連付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

		c:言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。			
三学期	実用的な文章の読み方を理解する。 ［教材］ 共通テスト＋センター試験過去問題	a:情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めつつ、推論の仕方についても理解を深めている。 b[読]:文章の種類を踏まえて、書き手の立場や目的を考えながら、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 c:言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、粘り強く言語活動を行う中で、ものの見方、感じ方、考え方を深め、自らの学習を調整しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ワークシート	ノート ワークシート ポートフォリオ

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間
・書くこと　…　（　３８　）時間
・読むこと　…　（　６０　）時間